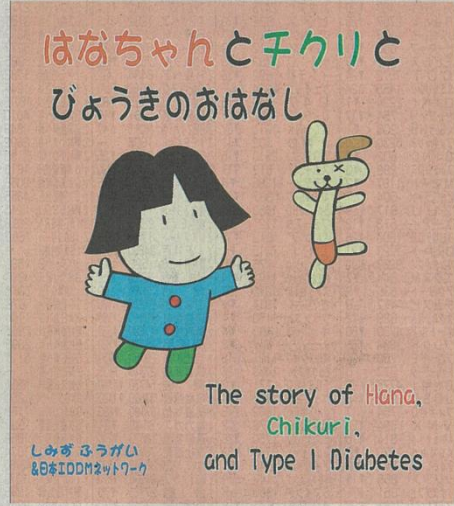


令和7年3月1日(土)付



「はなちゃんは4さい。ぬいぐるみのチクリといつもいっしょです。」
「ふだんはふつうのおんなのこと。なにもかわらない。はなちゃんなのに、いちにちなんかいも、ちゅうしゃをうたなければいけません。」
朝起きた時も夜寝る前にも、はなちゃんはママに注射をしてもらいます。そして、はなちゃんもおもちの注射



「はなちゃんとチクリとびょうきのおはなし」の表紙(しみずふうがい&日本DDMMネットワーク、自費出版)

1型糖尿病の子と家族描く

はなちゃんとチクリとびょうきのおはなし (自費出版)

をチクリにちくり!
はなちゃんは健康に生まれ、どこにでもいそうな元氣いっぱいの子でしたが、3歳のころ、急に体調を崩し
ました。すぐに疲れて動けな器やポンプを使い、1日に何
くなるのです。病院の先生は度もインスリンを補充しなけ
れ、どこにでもいそうな元氣言いました。「1型の糖尿病
です」。ある日突然発症し、ママは初めてはなちゃんのお
なかにインスリン注射をし

た時、とてもつらくて、涙をポロポロこぼしました。毎日何回も注射するので、おなか
がチカチカになりました。パ
パはそれを見るのがつらく
て、朝早く仕事に行くよう
になり、毎晩、遅くまで帰っ
てこなくなりました。
はなちゃんは注射より嫌な
ことがありました。パパとマ
マがけんかばかりするので
す。家族で公園に行くはずだ
ったある日曜日。

「わたしのことで、けんか
しているの?」「やっぱり
わたしが、びょうきだから
かな。パパもママも、びょう
きの、わたしが、きらいなの
かな」「ちゅうしゃだつて
がまんしてるし、わがママも
いわないようにしてるよ。
でも、わたしなんか、いい
ほつが、いいのかな。」
チクリと家を出たはなちゃん
は雨の中迷子になり、低血
糖で動けなくなってしまう
す。はなちゃんがいなくて
づいたパパとママは、必死に
捜し回ります。無事に両親の
元に帰ることができると
うか。
糖尿病には、はなちゃん
のような自己免疫疾患などが
原因とされる1型糖尿病と、遺
伝的要因や生活習慣が原因の
2型糖尿病があります。それ

を知らない人から「だらしない生活習慣や子育てのせいだ」と、患者と家族は心ない言葉で傷つけられることもあります。
別冊「パパとママとはなちゃんの「おはなし」は、両親の視線で同じ出来事を描いていきます。はなちゃんと家族の物語は、1型糖尿病の正しい理解だけでなく、この病気とも
もに生きるこの現実、家族の不安や孤独、葛藤、そして愛情が丁寧に描かれ、読者に共感と理解を促します。この絵本が病気を知らずかへとなり、誰もが温かいまなざし
で支え合える社会につながることを願います。
(島根県立大人間文化学部 准教授・水内豊和)
|| 土曜掲載 ||



脳性まひのある「ぼく」は、特別支援学級で一人で学ぶ5年生。ある日、4年2組の28人の児童がやってきて、吉田先生がぼくを紹介しました。「4年2組のみなさん、ようこそ、にじ組へ。今日から始まる交流の時間を、先生はとも楽しみにしています」 「ここに居るのが高橋真人くんです。マークと呼んでくださいね」
交流会「スマイルアトラク

ション」に向けて週に1回、 るんだらう?」「本当に楽しみにし組で交流が始まりました。いのかな?」
た。でも、マークは少し不安そう。「交流って、何をす

4年2組がやってきた (くもん出版)

障害ある子と仲間の成長



「4年2組がやってきた」の表紙(野村一秋/作、ささきみお/絵、くもん出版)

援学級の子どもと、通常学級の子がともに活動することを「交流及び共同学習」といいます。障害のない子たちが近隣の特別支援学校の子たちと交流する場合や、地域の障害

「ぼく」は年下の児童に「マーク」と呼ばれます。言葉は話せなくても、本人は嫌がっているかもしれせん。障害のある人に対して、年齢にかかわらず、幼い呼び方をすることが当然のように受け止められないよう、読み聞かせでは意識して伝えることも大切だと感じました。

援学級の子どもと、通常学級の子がともに活動することを「交流及び共同学習」といいます。障害のない子たちが近隣の特別支援学校の子たちと交流する場合や、地域の障害

「ぼく」は年下の児童に「マーク」と呼ばれます。言葉は話せなくても、本人は嫌がっているかもしれせん。障害のある人に対して、年齢にかかわらず、幼い呼び方をすることが当然のように受け止められないよう、読み聞かせでは意識して伝えることも大切だと感じました。

最初4年2組の児童が提案したのは、手を使って物を操作するゲーム。しかし、マークは話すことや自分の足で歩くこと、手を使って食事をする事ができません。それでも先生は初めから「無理なのでは」と決めつけず、発想に任せます。4年2組の児童たちはマークと関わり、「マークができないこと」を理解するだけでなく、「マ

最初4年2組の児童が提案したのは、手を使って物を操作するゲーム。しかし、マークは話すことや自分の足で歩くこと、手を使って食事をする事ができません。それでも先生は初めから「無理なのでは」と決めつけず、発想に任せます。4年2組の児童たちはマークと関わり、「マークができないこと」を理解するだけでなく、「マ

とを「何もできない、かわいそうな子で、お世話してあげなければならぬ存在」といった理解で終わらせないことが大切です。
本書は録音した音声再生して意思を伝えるツールや車いすで乗り込める福祉車両などがさりげなく紹介され、素晴らしいと思います。ただ、

准教授・水内豊和
|| 土曜掲載 ||

山陰総合

題字
佐藤 旺亮
(雲南・加茂中3年)

島根出身学生55%超目標

県立大 地域貢献へ人材育成

島根県立大(本部・浜田市)は、2030年度時点の学生の島根県内出身者比率について、19〜24年度の平均値より5.7%高い55%以上とする目標を設定した。県内枠を拡充する入試改革や、県内で不足している教員や看護師の養成を通じて、身近な地域に貢献する人材育成を図る。

25年度から6年間の次期中期計画に盛り込んだ。具体策として、看護栄養学部看護学科で26年度入試から県内高校を対象にした

指定校推薦(最大4人)をする。県内就職率の目標は、19〜24年度平均42.2%より

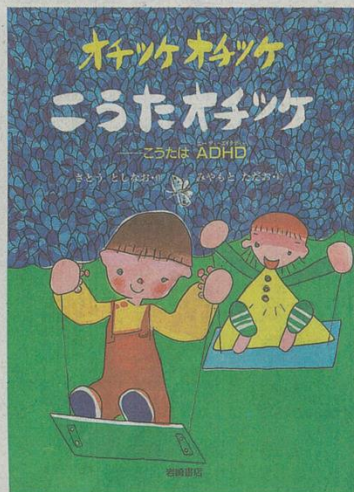
7.8%高い50%以上とする。県内企業と連携した長期インターンシップ、教員免許取得や公務員試験対策の講義をオンラインで受講できるようにし、浜田、松江、出雲の3キャンパスの枠を越えて学べるよう工夫する。山下一也理事長兼学長は「島根創生を担う人材を育成するため、教職員が一丸となって目標を達成したい」と話した。

(宮廻裕樹)



こうたくんは先生の声や運動会の練習の音、友達にくる変わる笑顔、給食を作る調理員さんのスリッパの音など、見えるもの、聞こえるものが洪水のように入ってきて処理しきれないようです。そして、はたから見たら勝手な行動をとって家族や先生に叱られます。

「オチツケ オチツケ こ



「オチツケオチツケこうたオチツケ」の表紙。イラストは岩崎書店の岩崎先生による。表紙のデザインは岩崎書店の岩崎先生による。

困っていたら一緒に考えて

オチツケオチツケこうたオチツケ—こうたはADHD (岩崎書店)

うた オチツケ おとうちゃん ルイコナンダ」
ん おかあちゃんに なんど お母さんがこうたくんを病
言われたろう せんせいに 院に連れて行くと、医師はこ
なんど いわれたろう」 う言いました。「こうたくん
そのたびにこうたくんは自 は かしこい子だ おちつか
分を責めます。「ボクハ ワ なきゃいけないって わか
つてる ともだちに いじわ
るしちゃう いけないってわ
かっている」「でも ついつい
やっちゃう それはね こ
うたくんが いま ブレーキ
のまきにくい 車に のって

いるようなものなんだ」
こうたくんは注意や集中、
行動の抑制が苦手で、日常生
活に困難がある発達障害の一
つ、ADHD (注意欠如多動
症) なのです。
それからは両親も先生もこ
うたくんを励まし、褒めて、
ささいなことにも感謝して
くれるようになりました。生

活環境を調整して、気がそが
れないようにしたり、良いと
ころに肯定的な注目をした
りすることで、問題のある行
動が減り、自己肯定感は高ま
りました。怒って泣いてはか
りの母親も笑顔が増えたよう
です。
「オチツケ オチツケ こ
うた オチツケ ボク スグ
イイコニ ナレナイケド
デモ ボクハ ワルイコシヤ
ナインダ」
苦戦する子どもたちやその
両親の診療、相談援助を続け
た、児童精神科医の故佐々木
正美先生の解説が巻末にあ
り、引用します。
「あいまいで、臨機応変に
対応や適応していくことに
は、とまといや苦しみを感じ

ている子どもです。そういう
ことを養育者や教育者は良く
理解してあげてほしいと思っ
ます。けっして聞き分けの悪
い子どもでも、わがままな子
どもでもないのですから。こ
の絵本に描かれているような
「やさしさ」を、この子ども
たちは求めているのです」。
まさに至言です。
皆さんの周りの「こうたく
ん」は「困った子」ではなく
「困っている子」。「どっし
てできないの?」ではなく「ど
うしたらできるか」を一緒に
考えてみてください。「特異」
で得意なところを探して伸ば
し、褒めてあげてくださいね。
(島根県立大人間文化学部
准教授・水内豊和)

|| 土曜掲載 ||

『怪談』、セツの英単語帳、出雲弁

〈松浦雄二〉

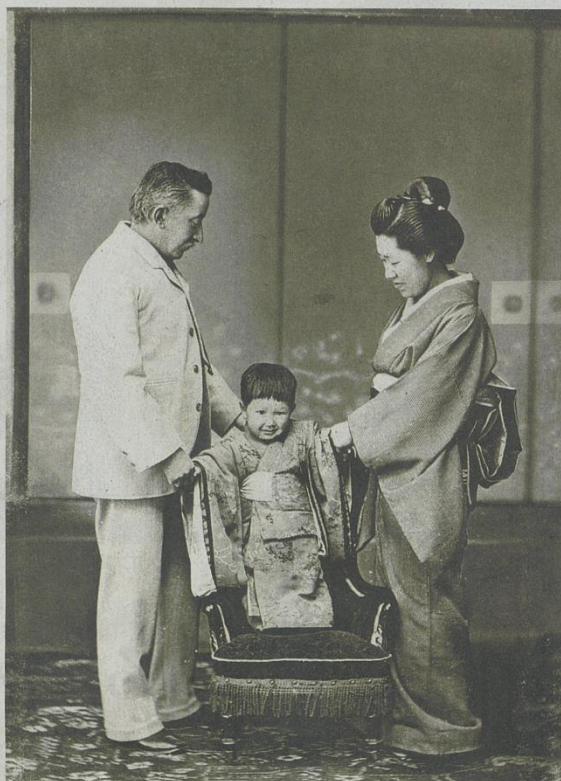
小泉八雲の著作の中で間違
いなく重要な位置を占める
のは、古典的な伝承・伝説
の内容を書き手が創造的に
語り直すいわゆる再話の文
学である。その中でも『怪
談』は一番に名前が挙がるだ
ろう。

再話物語の元になる日本の
怪異譚や説話集を読んで八雲
に語って聞かせるという、作
品成立に欠かせない重要な役
割を果たしたのが妻セツであ
る。語るに際し本を見ながら
話そうとするセツに、八雲は
「本を見る、いけません。た
だあなたの話、あなたの言葉、
あなたの考でなければ、いけ
ません」と要求したことが、
セツの回想録『思ひ出の記』
の中に記されている。

さて、八雲の著作そのもの
は英語で書かれたものであ
り、先の『怪談』の原文でのタ
イトルはKWAIDAN(あ
えてカナで表記するならば
「クワイダン」か)と綴られ
ている。この中のwの音は伝
統的な出雲弁の音の主要な
特徴の一つである。

今でこそ、このような発音
発声は日常的には地元でもめ
ったに聞かれなくなりましたが、

幸せな思い出の背景に出雲弁 目指した世界に欠かせない音



神戸時代の小泉八雲と妻セツ、長男一雄の家族写真(小泉八雲記念館提供)

例えば大正生まれで奥出雲地
方出身の出雲弁話者であった
筆者の父母は、20年近く前に
相前後して亡くなるまで普通
にキヤベツのことをクワンラ
ン(甘藍)と呼んでいた。八
雲が生活した頃の出雲地方な
らば、中山間地域とか都市
部とかにかかわらず、現在
よりもずっと豊かな出雲弁
が日常にあふれていたであ
ろう。

八雲没後30年が近く頃、
長男一雄が38歳の時に著した
回想録『父(八雲)「八雲」
を憶(おも)ふ』(以下(一))
内の振り仮名のみ筆者によ
る)には、小泉家では出雲弁
が日常にあふれていたことを
致(えた)すまですて、有難(あ
り)がたに思(おも)うた。そ
うかかわせる箇所が随所にあ
るかと「うございます」とお
辞儀を返した。

他にも多くの例があるのだ
が、一雄は誰かが出雲弁を話
す場面には必要なルビを振っ
て、それが出雲地方の訛りで
あることを示そうとしてい
る。つまりその場面には出雲
弁の音がなければならぬとい
考えたのだ。

右の例での一雄の書きぶり
からは、家族の幸せの象徴的
な出雲訛りの響きとともに思
い出されることがかがわれ
る。つまり出雲弁の音は懐か
しい幸せの音であり、亡き父
親への深い思慕とともに思い
出されるものなのである。そ
してその音の響きは、八雲が
聞いたセツの声音にもあつた
はずである。

セツが熊本時代から始めた
と思われる英語レッスンのた
めの単語帳が2点現存してお
り、これらには練習したと思
われる英語の発音のカタカナ
表記と意味が記してある。そ
のカタカナ表記は、現代のわ
れわれには、一見ただけで
は英語とは判読できない綴り
方になっているのだが、これ
を出雲弁の発音を手掛かりに
して読み解くと、八雲の発声
した英語の音と、一字一句と
も几帳面に記した形跡が見
えてくるばかりでなく、八雲
とセツの共通した人間性まで
垣間見える。

ある意味、愛が日々少しずつ
育まれていく現場の記録と
言ってもよいかもしれない。
その時のような出雲弁を交え
たりとりは、いわゆる「ヘ
ルンさん言葉」となつて八雲
が亡くなるまで続くのだが、
怪異譚のセツ版を聞く八雲に
とっては、セツが出雲訛りで
話す「あなたの言葉」が大事
なのである。そのことは、八
雲が作品を通して目指した世
界がどのようなものであるか
を知ることがなると筆者は
考えている。八雲にとつて怪
談は、ぜひKWAIDANで
なければならなかったのだあ
る。(島根県立大学教授)

稲田姫 重厚な鬼舞

島根県立大生の創作石見神楽



創作演目「稲田姫」を披露する「石見神楽温泉津舞子連中」のメンバー＝松江市袖師町、島根県立美術館

大田の団体 松江で上演

味つもの 百の草木も穂を垂らす 稲田の女初の 恵えてこそ。出雲物語で「豊穰の女神」として知られる、稲田姫命を主人公とした石見神楽の創作演目が16日、松江市袖師町の島根県立美術館で初披露された。県立大の学生らが作り上げた台本を基に、大田市内の人気団体「石見神楽温泉津舞子連中」が上演。悪鬼と対峙する重厚な舞に仕上がりに、会場を魅了した。(佐々木一全)

同演目は、夫となる須佐之男命による八岐大蛇退治の前日譚との位置付け。疫神を退ける演目「鍾馗」をほつふつとさせる二人舞で、稲田姫が女形の調子に合わせて軽やかに舞い、奥出雲地方の玉鋼を鍛えた剣で立ち回る勇敢さを表現した。能面を参考に制作した稲田姫の面と害虫をモチーフにした悪鬼の面も来場者の目を引いた。

台本制作を担った県立大人間文化学部の古典文学ゼミの学生によると、稲田姫は古代神話などで守られる存在として描かれる一方、近現代の芸術作品では自ら剣を手取る描写が目立つという。

企画統括を担った4年生の大櫃加苗さん(22)は「自分たちが表現したかった稲田姫の一面を感じられる素晴らしい舞だった」と感激。悪鬼役を担い、神楽面職人として今回の面制作も手がけた同団体の小林泰三さん(44)は「重厚な舞として見てもらえたと思う。地元の神社などでも奉納していきたい」と話した。

出雲神話の魅力について議論する「出雲神話フォーラム2025」(主催・島根国際交流委員会)で上演した。ほかに、出雲大社に関するドキュメンタリー映画の上演や神話学や古典芸能の専門家によるパネルディスカッションもあった。



「きみは とても たいせつだよ！」
 こんなふうに言われたことが
 ありますか？ 大切な人に
 言葉にして伝えたことがあり
 ますか？

「このせいかいには たくさ
 んの ひとが いるよね。お
 おきかたり ちいさかたり
 はだの いろも いろい
 ろ。」

「ねえ ゆびさきの しも
 んを みてごらん。そのしも
 んは ほかの だれとも お
 なじじゃないね。 きみだけ



「きみは とても たいせつだ
 よ！」の表紙(スー・ボツ
 クス/作、スージー・ポー
 ル/イラスト、おのくみこ
 /訳、ドン・ボスコ社)

の しもんだよ。すごいこと
 だと おもわない？」

「かけまわっているこ お
 となしにこ にぎやかなこも
 いる。きみは どんなこ
 の？」

「自分はどんな人？」と問
 われたら、すぐに答えられる
 でしょうか。私は足が速いわ
 けでも、背が高いわけでもな
 く、人付き合いは特に苦手。
 凸凹の“凹”ばかりを挙げて
 しまいます。

私が出会った子どもたちに

きみはとてもたいせつだよ！ (ドン・ボスコ社)

一人一人にすてきな一面



「きみは とても たいせつだよ！」の一場面
 (スー・ボツクス/作、スージー・ポー
 ル/イラスト、おのくみこ/訳、ドン・ボスコ社)

も「いいところなんてない」
 「どうせぼくはバカだから」
 と言う子がいます。保護者に
 わが子の得意なことやすてき

なところを尋ねても、「特に
 ない」と言われることがあり
 ます。

しかし、接してみると、魚
 に詳しい子、折り紙が得意な
 子と、それぞれすてきな一面
 が見えてきます。

私たちはつい自分を卑下し
 がちです。理想の自己像と、
 自分が認知している自己像と
 のズレに苦しむこともありま
 す。しかし、絵本にはこう書
 かれていきます。

「きみが たいせつだって
 ことと いいことだってことと
 は ちがうんだ。」

2024年4月、島根県内
 の発達障害や精神疾患のある
 思春期・青年期前期の当
 事者たちが気軽に集える場を
 つくりました。月1回程度、
 おしゃべりやカードゲームを
 楽しめます。先日は出雲大社
 にお参りしようです。監修
 者として、メンバー一人一人
 を大切にし、自主性を尊重し

た主体的な運営を重視してい
 ます。

サークル名や活動内容を決
 める立ち上げ会議の際、メン
 バーに「つだけ投げかけたこ
 とがあります。」

「この会を発信する時、サ
 ークル名だけではどんな人の
 集まりか、分かりづらいかも。
 皆さんを表す言葉があるとい
 いのでは？」

話し合いを経て、彼らは「チ
 ヤレンジドたち」という言葉
 を選びました。それぞれがど
 のように自分を理解している
 のか、これまでの歩みと、こ
 れからの展望が込められてい
 ると感じました。温かく見守
 っていきたいと思えます。

ところで、この絵本は最後
 にびっくりする仕掛けがあり
 ます。ぜひ手に取ってみてく
 ださいね。

(島根県立大人間文化学部
 准教授・水内豊和)

|| 土曜掲載 ||



「起こってしまった。どうしようもない。」
「いまからぼくは、『一年B組にいる、あのかわいそうな男の子』になるんだ。」
てんかんのある少年スフエンと介助犬アラスカ、元飼主でスフエンのクラスメイト・パーケルが主人公の物語です。スフエンは新学期、てんかんのある「あのかわい

「そんな男の子」ではなく、周囲に発作がないときは、ぜんぜん困をあっと言わせて印象付けたいと考えます。しかし、何もできず、てんかん発作が出て、奇妙な子と認識されます。

おいで、アラスカ! (フレーベル館)

てんかんを知り変わる日常



紙表の「おいで、アラスカ!」(アンナ・ウォルフ作、悦子/訳、フレーベル館)

「伝染はしないよ。それ

身、信じていないもの」
「これが、ぼくの人生。ぼくには介助犬がいて、寝室は一階にあつて、手首にはSO用のバンド、薬箱とプロテクターがかかせない。ぼくはスフエンで、てんかんとは切っても切れない縁なんだ。」
てんかんは、てんかん発作

を繰り返す状態です。
脳の神経細胞の異常な電気活動によって引き起こされる発作で、手足がしびれたり、意識を失ったり、さまざまな症状が出ます。
突然けいれんを起こして倒れることもあるので、怖い病気、治らない病気という偏見や誤った理解もまだまだあり

ます。てんかんのある人は100人に1人とされ、そのうち7割ぐらいが、適切な服薬によって発作をコントロールでき、病気がうまく付き合っ

て生活しています。
てんかん当事者の自己理解を促し、病気と付き合いながらも「できた」という体験から自己肯定感を高めていくことに加え、てんかんに対する社会の正しい認識の広がり

不可欠です。
本作は長編の物語で、スフエンとパーケルが新学期から2週間の出来事を交互に語り、その間をアラスカがつなぎます。てんかんだけでなく、思春期特有の友達付き合いがいじめ、スマートフォンを使い方、情報モラルなども扱い、それらが社会の認識や本

人の自己肯定感にも作用します。

物語の舞台のオランダはてんかんの人向けの介助犬がいますが、病気の説明や発作への対応に日本と大きな違いはありません。SOSバンドはヘルプマークを想像するとよいでしょう。
スフエンのような人にどう接しますか? 本書は、知ること理解や世界が変わると伝えていきます。てんかんに限らず、目に見えない障害や病気がある人は周囲の理解の有無で、日常が大きく変わります。誰もが安心して過ごせる社会を考えるきっかけになれば、うれしいです。

(島根県立大人間文化学部 准教授・水内豊和)
|| おわり ||